

日本光学会第 166 回幹事会議事録

日 時： 2002 年 5 月 10 日（金） 13：30～18：00

場 所： 機械振興会館地下 3 階，B 3-1 号室

出席者： 山本幹事長，以下 28 名

議 事：

1. 前回常任幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- ・「光学」の編集作業は順調に進捗している。
- ・50 周年記念号に関して，4 月 29 日に納品され発送した。
- ・50 周年記念号の発行が遅れたため，第 5 号も 10 日程度遅れて発行する予定である。
- ・第 6 号から通常の 10 日発行となる予定である。
- ・50 周年記念号の寄贈については今後審議することとなった。
- ・50 周年記念号の訂正は 5 月号に掲載することとした。

(2) 「OR」編集報告

- ・順調に発刊しているが，投稿数は減少気味で，Review がとぎれている。
- ・出版編集合同委員会で委員の任期を 2 年（再任は可）と決定した。
- ・No. 3 から新メンバーとなることになった。

2-2. 講演会関連報告

(1) 第 27 回光学シンポジウム進捗報告

- ・計画どおり順調に進捗している。
- ・案内の配布が遅れたため，早期参加申し込みは少ない傾向がある。

(2) サマーセミナー進捗報告

- ・メールで幹事会メンバーからの承諾を受け，内容が決定した。
- ・「光学」第 31 巻第 6 号，光学シンポジウムの予稿集，ホームページに案内を掲載することとなった。

(3) 3 次元画像コンファレンス進捗報告

- ・順調に進捗している。
- ・投稿件数が昨年より 10 件増え，ポスター発表を増やすこととなった。
- ・プログラム，参加募集はホームページにて掲載した。

(4) Optics Japan 2002 進捗報告

- ・プログラム内容は最終段階に入り，順調に進捗している。
- ・ホームページは 5 月中旬にアクセスできるようになり，なるべく Web 上で投稿，参加申込みするよう調整している。
- ・「author's interview」の時間を設けるなど，議論の時間を十分にとる方向で検討することとなった。

(5) 平成 13 年度名古屋講演会開催報告

- ・3 月 20 日に「新世紀の光デバイス」というタイトルで開催され，20 名の参加があった。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・「新世代の電子画像」公開セミナーからの協賛依頼に対し，承認した。

(2) 会員動静

- ・ほぼ増減はなかった。

(3) 研究グループ会計報告

- ・11 の研究グループのうち，希望のあった 9 グループに 5 万円ずつ補助金を配算した。

(4) 応用物理学会理事会報告

- ・応用物理学会倫理綱領について報告がなされた。

(5) ICO 2004 関連報告

- ・計画概要が決定した。
- ・開催日が他学会と重なっていることが指摘されたが，ICO が光学の産業分野を取り入れたいという強い意向から共同開催，日程が決定された，との説明があった。

(6) 光学論文賞副賞について

- ・商品が製造中止になったため，同様の商品とすることで検討中である。

(7) (SPIE+OSK) & OSJ 協定内容の「光学」さろん欄や，日本光学会 Web への掲載報告

- ・協定内容を「光学」さろん欄に掲載するため，準備を進めている。
- ・Web やメールでも会員に案内することとした。

(8) 会計処理の手引きについて

- ・領収書の宛名は「日本光学会」または行事名とすることが確認された。
- ・会計は年単位で行うため，12 月 10 日までに決算を終わらせることが確認された。

3. 審議事項

(1) 年度計画について

- ・平成 14 年度計画が提出され、承認された。

(2) 光学論文賞募集要項について

- ・提出期限等例年どおりとした募集要領について承認された。

(3) 光学論文賞審査委員について

- ・審査委員長を山本幹事長とすることが、承認された。
- ・委員の選出は山本幹事長が行い、後日審議することとなった。

(4) 奨励賞審査委員について

- ・審査委員の候補者が選出され、承認された。6 月中に選考を終了する。
- ・奨励賞規定の改定については、次回以降の幹事会に案を提出し、来年度からの適用に向けて審議することとなった。

(5) 幹事選挙改定案について

- ・2 つの選挙制度案 (1. 幹事推薦枠と一般推薦枠の 2 本立て案, 2. 選挙制度そのものに大きな変更は加えないが, 立候補公募時期を早め, 幹事会推薦者選考に余裕がもてるようにした案) について討議した。昨年度は一時的現象である可能性もあるため, 今年度は現行規定の修正箇所が少ない上記 2 案を, 採決の結果, 採用することとした。
- ・「光学」第 7 号において立候補者を公募することとなった。
- ・さらに長期的根本的な見直しを続けることとなった。

(6) 関西地区事業担当幹事増員について

- ・審議の結果, 副幹事には幹事長からの委嘱状を出し, 公式な立場で運営にあたってもらうこととした。
- ・委嘱状の正式な役職名は, 後日関西地区幹事から山本幹事長に要望を挙げることとなった。

(7) 微小光学特別セミナー案内について日本光学会メーリングリスト利用の件

- ・メーリングリスト使用の許可が承認された。
- ・メーリングリスト使用のガイドラインについて, 引き続き審議することとなった。

(8) 将来計画委員会答申書について

- ・各委員の承諾を得た後, 「光学」第 31 巻第 7 号に答申書を掲載する方向で進めることとなった。
- ・応用物理学会との関連については, 専門委員会 (委員長は山本幹事長) を設置しさらに検討する方向で進めることとなった。
- ・学会内部の課題については, 企画委員会 (委員長は中島副幹事長) を発足させ具体化案を検討することとなった。

- ・残された課題については引続き今年度の将来計画委員会で検討していくことになった。

(9) 交通費規定について

- ・現状と一致する改定案が提出され, 承認された。
- ・主な改定は, 航空運賃について “MAX. 通常期料金” を “往復運賃を限度とする” に変更した。

(10) Optics Japan 2002 備品購入について

- ・応用物理学会からの貸し出しがない場合には, タイマーを光学会として購入することが承認された。
- ・「光学」への案内の綴じ込み料については, 事業ごとに会計を出しているため, 光学会として負担はしないこととした。

(11) 入会のしおりについて

- ・入会のしおり (案) について, 誤字を指摘した上で, 承認された。
- ・印刷部数については, 現在の使用状況を調査し, 十分な部数を作成することになった。
- ・入会のしおりは PDF ファイルに変換し, ホームページからダウンロードできるようにする方向で検討することとなった。

(12) 50 周年記念 CD-ROM の利用案について

- ・新会員に無料配布, 学会等で配布・販売することを中心に, 再検討することとなった。
- ・営利目的の CD 販売は, 応用物理学会から許可されないため, 価格の設定等も再審議することとなった。

4. 次年度引継ぎ事項について

- ・具体的な対応策については, 今後審議することとなった。
- ・特に海外からの投稿に対する援助金が残ったため, 宣伝方法の改善等が今後の課題として挙げられた。

次回常任幹事会は, 7 月 12 日 (金) 13:30~, 光学資料室。次回幹事会は, 9 月 13 日 (金) 13:30~機械振興会館

第 1 回常任幹事会

2002 年 7 月 12 日 (金) に日本光学会資料室において開催されました。「光学」, 「OR」の編集委員会報告, 光学シンポジウム, サマーセミナー, 3 次元画像コンファレンス, Optics Japan 2002, 平成 14 年度関西講演会, 平成 14 年度北陸信越講演会, 冬期講習会等の講演会関連の報告および審議, 協賛依頼, 会員動静, 奨励賞審査結果, 光学論文賞審査委員, 光学論文賞副賞変更, 光学資料室移転, 関西五学会ホームページ, 入会のしおり改訂, 50 周年記念 CD-ROM 利用案, 国立科学博物館イベント, 応用物理学会役員・代議員候補者推薦, 次期幹事選出方法, 等

について報告、審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第31巻11号に掲載予定です。

第204回「光学」編集委員会

2002年7月11日(木)に、(財)日本学会事務センター学会共同編集室において開催されました。第32巻第2~3号企画、第32巻4~8号構想案について審議が行われました。また、飛び込み解説記事、書評依頼の扱い等について審議がなされました。そのほか、編集委員の専門分野、50周年記念号における訂正記事、各号進捗状況、論文投稿・審査状況、会計、幹事会等について報告がなされました。

平成14年度光学論文賞選考委員

平成14年度第1回常任幹事会において光学論文賞選考委員案が提出され、下記のように決定いたしました。

委員長：山本公明(オリンパス)

委員：塩入 諭(千葉大) 小松進一(早稲田大)

春名正光(阪大) 中沢正隆(東北大)

本宮佳典(東芝)

平成14年度応用物理学会関西支部シンポジウム「次世代ディスプレイとその展望」—有機ELとFED—

高度情報化社会において、われわれ人間と直接コミュニケーションを担う表示デバイスは、ますますその重要性を増しています。今後、移動型情報デバイスや環境調和型のディスプレイ等の要求が高まるにつれて、さらに高精細、高速、軽量、フレキシブルなデバイスの開発が望まれています。現在、このような次世代の新しいディスプレイを実現するため、フィールドエミッションや有機エレクトロルミネセンスなど、さまざまな表示技術や材料の研究が進められています。そこで本シンポジウムでは、この分野の第一線でご活躍されている研究者の方々に、次世代ディスプレイの諸技術と開発動向についてご講演をいただきます。

主催：応用物理学会関西支部

協賛：映像情報メディア学会関西支部、大阪科学技術センター、環境科学会、近畿化学協会、計測自動制御学会、高分子学会関西支部、電気学会関西支部、電子情報通信学会関西支部、照明学会関西支部、精密工学会関西支部、センシング技術応用研究会、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部、日本真空協会関西支部、日本セラミックス協会、日本電子顕微鏡学会関西支部、日本人間工学会関西支部、日本表面科学会、日本物理学会、日本分光学会関西支部、日本分析化学

会近畿支部、レーザー学会、応用物理学会分科会日本光学学会、応用物理学会薄膜・表面物理分科会(依頼中、順不同)

日時：2002年11月14日(木) 10:00~17:00

場所：(株)島津製作所関西支社マルチホール(大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階)

電話 06-6373-6522

プログラム(題目は仮題です)：

10:00~10:10

1. 開会の挨拶

尾浦憲治郎(応用物理学会関西支部長、大阪大大学院工学研究科)

10:10~11:10

2. 次世代フラットパネルディスプレイとしての有機ELとFED

高井幹夫(大阪大極限科学研究センター)

11:10~12:10

3. インクジェット技術のディスプレイ製造プロセスへの応用

木口浩史(セイコーエプソン(株))

13:40~14:40

4. 有機ELフィルムディスプレイ

宮寺敏之(パイオニア(株))

15:00~16:00

5. フィールド・エミッション・ディスプレイの開発動向

伊藤茂生(双葉電子工業(株))

16:00~17:00

6. MIM型フィールドエミッションディスプレイ

鈴木睦三((株)日立製作所)

定員：100名(定員オーバーのときのみご連絡します)

参加費：主催学会員・協賛学会員 2,000円、学生 1,000円、一般 5,000円

申込み方法：シンポジウム名、氏名、所属、連絡先住所、電話番号、Fax番号を記入して、電子メール、Fax、または往復葉書(復信宛名記入)にて下記宛にお申込みください。

申込み先：応用物理学会関西支部事務局

〒565-0871 吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻内

電話 06-6879-4161(火・木のみ) Fax 06-6879-7860

E-mail: muraki@ap.eng.osaka-u.ac.jp

問合せ先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町京都大学大学院工学研究科電子物性工学専攻 後藤康仁

電話 075-753-5355 Fax 075-751-1576

E-mail: ygotoh@kuee.kyoto-u.ac.jp

千葉大学工学部助手公募

公募人員： 文部教官助手 1 名

分野・職務： 光工学（光を利用して目的オリエンテッドな教育・研究を行う分野，具体的には，光波伝播応用，立体像表示，画像応用計測，（医用，色彩）画像情報処理等の研究教育，および光基礎実験，プログラミングの教育）

所 属： 情報画像工学科画像システム工学講座・光工学教育研究分野（本田捷夫教授，羽石秀昭助教授在任）

応募資格： 博士号（取得見込みも可）をもち大学院修士，博士学生の研究指導も可能な方，年齢は 30 歳以下が望ましい。

提出書類： (1) 履歴書（写真添付），(2) 業績リスト（原著論文，国際会議，国内学会，解説，著書別に記入），(3) 主要論文の別刷，着任後の研究計画（2000 字程度），(4) 参考意見を求め得る方 1~2 名の連絡先

着任時期： なるべく早い時期

公募締切： 平成 14 年 12 月 2 日（月） 必着

書類送付・問合せ先：

千葉大学工学部情報画像工学科教授 本田捷夫
〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
電話 043-290-3469（ダイヤルイン），Fax 043-290-3490（学科共通）
E-mail: honda@image.tp.chiba-u.ac.jp

書類は書留で郵送してください。

立命館大学理工学部電気電子工学科教員公募

任用職名： 教授または助教授（専任講師の場合もありうる）

公募人員： 2 名

所 属： 理工学部電気電子工学科

専門分野： 通信システム，デバイス，パワーエレクトロニクスのいずれかの分野

着任時期： 2003 年 4 月 1 日

応募資格： 着任時に博士の学位を有していること，年齢は 50 歳以下が望ましい。

提出書類： (1) 履歴書（写真貼付），(2) 研究業績一覧（著者名，論文題目，掲載雑誌名，巻，号，頁，年，査読付き論文とその他の論文の区別），(3) 主要論文別刷（論文 5 編以内，コピー可），(4) 教育についての抱負（2000 字以内），(5) 研究についての抱負

（2000 字以内）。

応募締切： 2002 年 10 月 15 日（火）（必着）

書類送付先： 〒 525-8577 草津市野路東 1-1-1

立命館大学理工学部電気電子・光系副学系長

今井 茂

電話 077-561-2883 E-mail: imai@se.ritsumei.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類」と朱書きし，簡易書留郵便としてください。詳細はホームページ（http://www.ritsumei.ac.jp/se/re/info/koubo_03-e.html）をご覧ください。

立命館大学理工学部電子光情報工学科教員公募

任用職名： 教授または助教授（専任講師の場合もありうる）

公募人員： 3 名

所 属： 理工学部電子光情報工学科

専門分野： 通信・フットニックネットワーク，画像情報機器，光応用（光計測・分析，レーザー加工，近接場応用等）のいずれかの分野

着任時期： 2003 年 4 月 1 日

応募資格： 着任時に博士の学位を有していること，年齢は 50 歳以下が望ましい。

提出書類： (1) 履歴書（写真貼付），(2) 研究業績一覧（著者名，論文題目，掲載雑誌名，巻，号，頁，年，査読付き論文とその他の論文の区別），(3) 主要論文別刷（論文 5 編以内，コピー可），(4) 教育についての抱負（2000 字以内），(5) 研究についての抱負（2000 字以内）。

応募締切： 2002 年 10 月 15 日（火）（必着）

書類送付先： 〒 525-8577 草津市野路東 1-1-1

立命館大学理工学部電気電子・光系学系長 森本朗裕

電話 077-561-3902

E-mail: morimoto@se.ritsumei.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類」と朱書きし，簡易書留郵便としてください。詳細はホームページ（http://www.ritsumei.ac.jp/se/re/info/koubo_03-p.html）をご覧ください。

寄贈書のお知らせ

Springer-Verlag 社から，以下の 3 冊の図書が寄贈されました。

Y. Guo, *et al.*: *Nonlinear Photonics*

ISBN 3-540-43123-3, XVI+416 ページ，152 Figs., 29 Tables, 2002 年発行，16010 円（2002 年 5 月現在）

N. N. Rosanov: *Spatial Hysteresis And Optical Patterns*

ISBN 3-540-42793-7, XII+308 ページ，149 Figs.,

2002年発行, 12450円(2002年5月現在)
Y. Masumoto, et al. (eds.): *Semiconductor Quantum
Dots*

ISBN 3-540-42805-4, XX+486ページ, 278 Figs.,
2002年発行, 17790円(2002年6月現在)

日本光学会 *news* の掲載申込み先:

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10 キヤノン株式会社光学技術研究所レンズ開発センター
レンズ第1技術開発室 中井武彦 電話 028-667-5711 Fax 028-667-9486 E-mail: nakai.takehiko
@canon.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成14年度幹事(*常任幹事)

幹事長:	山本 公明*(オリンパス)	
副幹事長:	黒川 隆志*(農工大)	中島 啓幾 (早大)
前幹事長:	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事:	塩川 孝紳*(旭光学)	川田 善正*(静岡大)
	大瀧 達朗*(ニコン)	田中 賢一*(明治大)
	竹ノ内弘和*(NTT)	塚田 由紀*(交通公害研)
	中井 武彦*(キヤノン)	平井亜紀子*(産総研)
『光学』編集幹事:	岩井 俊昭*(北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	谷田 純 (阪大)
『OR』編集・出版幹事:	一岡 芳樹*(奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事:	山口 一郎 (理研)	石井 行弘 (能開大)
	大坪 順次 (静岡大)	
将来問題担当幹事:	志村 努 (東大)	岡 和彦 (北大)
企画・事業担当幹事:	黒川 隆志 (農工大)	梅田 倫弘 (農工大)
	野崎 昭俊 (コニカ)	仁科喜一郎 (リコー)
	木村 茂治 (日立)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	岩瀬扶佐子 (古河電工)	太田 淳 (奈良先端大)
	志村 啓 (日立ハイテクノロジーズ)	金子 寛彦 (東工大)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工業大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)